

地域ケア会議 課題整理総括表

作成日 令和 年 月 日 作成者

利用者名

記入の仕方

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③	④	⑤
状況の事実		自立	見守り	一部介助	全介助	改善 維持 悪化
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助	改善 維持 悪化
	屋外移動					
食事	食事内容					
	食事摂取					
	調理					
排泄	排尿・排便					
	排泄動作					
口腔	口腔衛生					
	口腔ケア					
服薬						
入浴						
更衣						
掃除						
洗濯						
整理・物品の管理						
金銭管理						
買物						
コミュニケーション能力		支障なし		支障あり		改善 維持 悪化
認知		支障なし		支障あり		改善 維持 悪化
社会との関わり		支障なし		支障あり		改善 維持 悪化
褥瘡・皮膚の問題		支障なし		支障あり		改善 維持 悪化
行動・心理症状(BPSD)		支障なし		支障あり		改善 維持 悪化
介護力(家族関係含む)		支障なし		支障あり		改善 維持 悪化
居住環境		支障なし		支障あり		改善 維持 悪化
ゴミ出し		自立	見守り	一部介助	全介助	改善 維持 悪化

「自立」「支障なし」以外を選択した項目の自立を阻害する要因を分析した上で、より根本的で重要な要因を最大6つ(番号は重要度等の順位を示したものではない)に絞り込んで記入する。  
※心身の状態あるいは生活の環境(物理的・社会的)等について、客観的事実を記入する。  
したがって、要因として疾患が捉えられても、疾患名だけの記入にならないようにする。

「日常的にしているかどうか」、「日常生活を送る上で支障があるかどうか」、該当するものに○を付ける。  
※環境によって状況が異なる場合は、頻度の高い状況に基づいて判断する。  
・日常的にしていなければ「全介助」  
・独居等で、誰も援助していないが不適切な状況と思われる場合は「見守り」  
★「新規・生活状況シート」から転記する。

「自立」「支障なし」以外を選択した項目について、必要な援助を利用した場合に、現在の状況が改善/維持/悪化の可能性の有無を選択し○を付ける。  
※6カ月後の状況を想定する。

「自立」「支障なし」以外を選択した項目について、その要因として考えられるものを、上記「阻害要因」欄から該当するものを選択し番号を記入する。  
※「阻害要因」欄との整合性を確認しながら、記入と修正を進める。

見通し	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	順位
<p>利用者及びその家族が、どのような内容のサービスを利用しながら、どのような生活をしたいと考えているのかについて課題分析の結果を記入する。(申し込み時点の最初の主訴ではない。) ※利用者及びその家族(続柄等具体的に記入する)の意向が異なる場合には、区別して記入する。 ★ケアプラン第1表につながる。</p>	<p>「見通し」欄までの記載内容を踏まえ、ケアプラン第2表につながる課題(案段階)を記載する。</p>	
<p>「自立した日常生活の阻害要因」の解決に向けて、「どのようなケアを実施することで」、「状況がどのように変化することが見込まれるか」(仮説)を記載する。 ※構文例 【要因】○○に対して 【支援内容】○○することで 【状況の見通し(目標)】 ○○となる可能性がある ★ケアプラン第2表につながる。</p>	<p>課題の優先順位を数字で記載する。ケアプランに反映しないこととした(できなかった)課題については「一」印を記載する。</p>	

①から順に記入していくと、スムーズに作成できます。

参考資料:介護保険最新情報Vol.379「課題整理総括表・評価表の活用の手引き」H26.6.17  
日総研「課題整理総括表・評価表 活用の実務」H31.3.29